



令和2年度のスタートです

校長 垣崎 晃

新入生104名を迎え、全校児童680名、教職員61名の新しい組織で令和2年度の大泉東小学校の学校運営と教育活動が始まりました。本年度も変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

小学校は本年度から新学習指導要領の完全実施です。育成を目指す資質・能力は、実際の社会や生活で生きて働く「知識&技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」、学んだことを社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」の三つです。この三つの力をバランスよく育んでいくことです。

算数を例に説明します。算数で学習した知識・技能、考える力などを活用する場面には次のようなことがあります。

- 算数の問題を解決するのに活用する。
- 新しいことを学ぶことに活用する。
- 理科や社会科など他の教科の学習に活用する。
- 買い物や旅行、筋道立てて考え判断するなど、日常生活で活用する。

かけ算九九が全部言えても、三角形の面積の公式を覚えても、分数のかけ算わり算ができても、それを活用して上記のようなことができるようになっていなければ、本当の算数の学習をしたことにはならないのです。さらに、学んだことが、人生や社会に生かされなければ意味のないものとなってしまいます。

そこで本校では、主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」も重視して、授業を改善していきます。また、カリキュラム・マネジメント（学校全体で教育活動の改善を進めていくこと）を確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。

「計算もできるし、それを使って文章題も解ける。」「漢字の読み書きができ、それを使って作文も書ける。」「その力を他教科でも、日常生活でも生かすことができる。」大東小の子供たちを育てるために、教職員一丸となって、きめ細やかな指導・支援をしております。

新学習指導要領の保護者向けリーフレットには、「子供たちの生きる力を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることがとても大切です。お子さんが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ話し合ってみてください。保護者の皆様の働きかけが子供たちの生きる力を育む大きな原動力になります。」と書かれています。このことから、保護者の皆様と学校がしっかりスクラムを組み、取り組んでいくことが重要であると考えます。本年度も保護者、地域の皆様と連携しながら教育活動にあたりまいります。本校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。